

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるう

2018～2019年度

国際ロータリー会長 **バリー・ラシン**
2560地区ガバナー **川瀬 康裕**
高田ロータリー会長 **牧野 章一**
幹事 **佐藤 教彦**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第20回例会 ■ 11月30日(金)

No.20

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは。今日は謙信公ゆかりの“川渡りもち”です。早いもので明日から師走です。

先週は「勤労感謝の日」と重なり2週間ぶりの例会です。

本日は多くの皆さまにご参加いただいております。一週間のご無沙汰がロータリーの友情を掻き立てた…、かもしれません。

私たちロータリアンには『会費の納入・例会出席・「ロータリーの友」購読』の3大義務があります。今日はその内で例会出席の中の「会食」について触れさせていただきます。

例会で大切なことは卓話のために来てくださった講師の方に失礼のないようにすること、そして「食事の時間」を大切にすること、先輩会員に何回となくご指導をいただきました。5ヶ月を経て思うことは、この食事時間には、職業奉仕・社会奉仕などにつながる情報交換や、顔見知りから信頼へ至る胸襟を開いた会話があるということであ

ります。

例会食・ミリオンとありますが、一番のごちそうはテーブルでの会話そのものです。ほとんど話もせずに帰る人をナイフ&フォーク・メンバーというそうですが、私は話を聴くことも会話に入ると思います。

改めて、私たちの会話を支えてくださるデュオ・セレッソのスタッフの皆さま、そして同じテーブルを囲んだメンバーとのご縁に感謝して今日もいい時間を過ごそうではありませんか。

本日の卓話は、国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所 所長 遠藤正樹様です。演題は「国土交通行政の話題」です。ご清聴ください。

出席報告

出席率 94.55%

幹事報告

配布物：週報No.19・ロータリーの友 12月号

報告：12/7 年次総会・クラブ協議会について
12/7 ロータリー財団 寄付のお願い

卓話 国土交通行政の話題

国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所 事務所長 **遠藤 正樹 様**



1. 高田河川国道事務所について
高田河川国道事務所の概要ですが、道路は国道8号と国道18号の上越・妙高・糸魚川の三市を管理しています。河川では関川、保倉川、姫川、

この三河川の下流部を管理しています。上流部は新潟県の管理となっております。

現在、上越三和道路として地域高規格道路を整備しています。この地域高規格道路は南魚沼市(旧六日町市)までつながる道路計画となっ

ておりまして、上越三和道路については来年の春に当事務所が工事している7kmのうち3kmが開通する予定です。先週の日曜日に一般の方にご案内してウォーキングイベントを開催いたしました。

道路に関するお話ですが、道路には「交通機能」のほかに「空間機能」があります。空間機能として代表的なものは次の二つです。①ライフライン収容空間（地下鉄、地下道路、地下河川、上下水道、電気、ガス共同溝等）②防災空間（幅員の広い道路整備により大規模地震発生時の火災延焼を防止）

2. 道路に関する話題

「道の駅」は道路事業のなかで最大のヒットとなっています。いま全国1,145駅がございますが、年間売上額はコンビニ業界第4位に相当します。「道の駅」は東日本大震災で救命・救急活動、物資集配、住民避難、食料供給などの拠点として機能しました。

現在、国道18号「道の駅あらい」では国道を挟んだ反対側を造成していますが、さらに「道の駅」を拡張して、新たな防災拠点として活用していくように今年から事業に着手したところ

です。

3. 高齢化

日本全体が超高齢化社会となっていますが、建設業就業者は55歳以上が約34%、29歳以下が約11%と高齢化が進行し大きな課題となっています。こうした状況を少しでも食い止めるべく、私どもは新潟県や地元建設業界と一緒に、高校生を対象とした仕事講座、現場見学会を実施し、建設界の将来の担い手づくりに取り組んでいます。構造物の老朽化も高齢化の一つの課題です。高度成長時代にどんどん新しい橋ができて、そのころの橋は約50歳を迎え、これから補修等が必要となってきます。平成23年に高速道路中央道笹子トンネルで天板が崩落して多くの方が亡くなった事故がございました。この事故を契機として市町村が管理するものを含め全ての道路を5年に一回のサイクルで点検、診断、修繕することが法律で義務化されました。新潟市の萬代橋は89歳、金沢市の犀川大橋94歳となりますが、メンテナンスさえしていれば長寿命化が図れるという事例です。

クラブ協議会 その2



初めての地区大会に参加して感じたこと

宮川 大樹 君

ロータリーの地区大会に初めて参加しました。何よりも全県から1,000人が一堂に会するスケールの大きさにビックリしました。

そして来年は大谷ガバナー年度として更に高田RCの結束力が試される大事な時に、私も新人として入会したことに緊張した事があります。

また今回の地区大会で、最も感銘を受けたお話は、水野正人会長の御講演でした。一流スポーツ

選手を間近で見ている観点から、成功する人の特徴は、精神的にのびのびとしている方だそうです。また、ロータリアンである水野会長からロータリーの奉仕の独特な特徴は職業奉仕との事です。それぞれ各人の担っている職を通じて高い倫理観のもと、社会に奉仕していく事とあります。私も職業奉仕の精神のもとロータリアンの一員として邁進する事を誓った有意義な一日でした。



地区大会に参加して

加藤 公一 君

この度全体会議内にて記念講演を頂いた「ミズノ(株)水野相談役会長様」の講話の中で、「近年伸び伸びと取り組んでいる多くのアスリートが活躍をされている。」とお聞き致しました。

私の中学時代はチャンスに恵まれ部活動の卓球に明け暮れており、結果として全国大会で優勝する事が出来ました。負けたら殴られると言う様な時代で、個々の反骨精神を煽る感覚があったよう

に記憶しており、時代背景の違いを大きく感じて参りました。また全体の設営運営等次年度を見据えて拝見して参りました。

ホスト三条RCをはじめコ・ホストクラブ皆様のご苦労もさぞ大変だったろうと感心するばかりでした。次期大谷ガバナー年度にはご来場頂く皆様へ沢山の感動と思い出をお伝え出来る様努めてまいりたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い致します。